



— 町のスローガン —

豊かな自然みんなで

拓く町 伸びる町

- グラフでみる今年の予算…………… 2・3
- これがことしの重点施策です…………… 5
- 第1回町議会…………… 6・7
- カメラルポ（巣立ち）…………… 9



広報

はじまった！今年の農作業

長かった冬も終わり春作業の時期に入りました。昨年は史上最高と言われた豊作、今年はどうでしょうか…。天候に左右されるとはいえながらも農家の徹底した管理が大切なことは言うまでもありません。2年連続の豊作を目指して、特に重要とされる苗づくりには万全を期し、収穫を喜びで迎えたいものです。（葉たばこ種播き・松沢）

4月

いがしゆり

No. 361

題字 / 佐々木青洋氏（東由利町出身）

町づくりが スタート

23億693万円
今年の予算は
前年比10.5パーセント増

農林水産業費 (21%)

農林道整備や農業振興
など

4億8,525万円

民生費 (20.8%)

特養ホーム建設
老人、母子、福祉など

4億7,911万円

公債費 (15.3%)

借入金の返済など

3億5,252万円

教育費 (14%)

小、中学校、社会教育費
など

3億2,265万円

総務費

(10.6%)

財産管理など

2億4,423万円

土木費

(6.1%)

道路の
整備や
除雪など

1億4,014万円

衛生費

(5.0%)

ゴミ処理
や検診
など

1億1,497万円

その他

(7.2%)

消防費
議会費
など

1億

6,806万円

会計

支出

町づくりの基本となる、昭和60年度予算が、3月の定例町議会で決まりました。依然としてきびしい財政状況のなかですが、一般会計予算の総額では、前年度より10.5パーセント多い23億693万円を計上、うるおいと活力ある町づくりのための積極的な予算となっています。今号では、これら予算のなかみと、主な事業を紹介します。

住みよい町づくりのため
普通建設事業費30パーアップ
昭和60年度一般会計予算は、前年度より2億1,960万円余り多い、23億693万円となりました。歳出の中のトップは農林水産業費の4億8,525万円、全体

の21パーセントを占めています。これに次ぐのが民生費の4億7,911万円、全体の20・8パーセントを占めています。これは、特別養護老人ホームの建設にかかるものが主となっています。性質別(下表)でみると、住みよい町づくりのために使う普通建設事業費は、前年度より30・1パーセント多い9億3,081万円となっています。

一般会計町民1人当り予算額

使うお金	371,726円
納める町税	30,520円

1人当り町税のなかみ

町民税	8,750円
固定資産税	16,336円
軽自動車税	1,008円
町民税	2,795円
電気税	1,535円
木材引取税	96円

36.3%		4.0%	18.2%	15.3%	11.1%	7.3%	7.8%
普通建設事業費	補助事業	単独事業	人件費	公債費	補助費等	物件費	その他
8億3,864万円			4億1,828万円	3億5,252万円	2億5,649万円	1億6,819万円	1億8,064万円

9,217万円

歳出の状況

性質別





予算編成にあたり

町長の施政方針・その1

60年度予算の編成にあたりましては、依然として厳しい国・県の地方財政計画のもと、財源の厳しい対応の中での編成で、財源確保のため、かなりの努力と工夫を要した予算編成となりました。

そのために、将来にわたる財政収支の均衡を見透しつつ、財政の健全化を保持することを基調といたしました。

歳入においては、住民負担の適正化を原則に財源確保を図る一方、地方交付税、特別交付税、国・県

補助金の確保に努め、地方債の運用にあたっても、良質債の確保に意を用いました。

歳出においては、経常経費の節約を目標に、経費の刷新を目指し、対前年度比6・9%を削減しました。その結果、1千227万円を節減。更に、補助金は国・県同様に厳しい見直しを行い、ありきたりの補助金をカットしたほか、必要なものについては新規補助も認めるなど柔軟に対処、総じて11・5%、5百46万円の節減を図りました。

しかし、そのような中であつても、農業振興、畜産振興、林業振興等にかかわる主要な部分、いわゆる、町の基幹産業振興の支柱となる補助金については、なるべく現計を維持するよう努力、民生、福祉関係補助金も概ね現計どおりとしました。

以上のとおり、一般行政経費と補助金の見直しと節減を図りつつ経費運用の合理化を断行し、健全財政を堅持することを最重点に予算編成にあたった次第であります。

明るく
住みよい

うるおいと

活力あふれる

グラフでみる
今年の
予算

県支出金は61%のアップ

歳入でいちばん多くを占める地方交付税は全体の44・2%、10億2,024万円を見込み、前年度より10%ほど多くなっています。また、県支出金は前年度より61%多い、4億5,198万円を計上しています。

すが、これは特養ホーム建設にかかる支出金が大半を占めています。建設事業を行うために借り入れる町債は、前年度より7・3%多い2億8,950万円となりました。自治体運営の基礎となる町税は、全体の8・2%で、これに財産収入や使用料などを含めた自主財源は、全体の16・7%、残り83・3%は国・県に依存するものとなっています。



項 目	本年度予算	前年度予算	対前年度比
国民健康保険	392,833	411,619	95.4
老人保健医療事業	267,541	224,177	119.3
黒 洲 診 療 所	2,429	2,447	99.3
簡 易 水 道 事 業	88,093	341,234	25.8
大平スキー場運営費	10,173	9,636	105.6
玉 米 財 産 区	751	3,247	23.1

(単位千円)

特別会計の国保では、保険給付費を59年度実績見込みで推計したことにより、前年度より4・6%少なくなっています。この結果、歳入では国庫支出金が前年度より約20%減、保険税では被保険者負担割合及び診療費の上昇率等を考え、前年度比13・9%の増となっています。

- 人と自然が調和した豊かな町土づくり
- 快適な環境の創造と心豊かな町民の育成
- 地域の特性を生かした魅力あふれる地域づくり



地方の個性を生かした行政を

町長の施政方針・その2

昭和60年度は地方自治体にと

りまして前年に引き続き、行財政ともにきびしい年を迎えました。

申しあげるまでもなく、わが国におきましては内外ともに厳しい経済環境のもとで、国・地方を通じ、財政の再建と行政改革の推進に鋭意努力を重ねてまいったところでありますが、一方、人口の高齢化に伴う社会情勢の変化に直面しており、これらの難局の打開とともに、来るべき21世紀を展望する新たな行政展開を強く要請されているところでもあります。また、これに対応する行政施策が重要な行政課題として進められているところでもあります。

行政の第一線にある私も地方行政自治体は、この時代の要請に応えるべく、全力を傾注して行政の刷新を図りながら、活力ある地域社会の建設に邁進しておるところでございます。

しかしながら、現行の行政制度と財政構造のもとにあつては、町村における行政の刷新を図りながら、地方自治に根ざした地域社会の発展を図るには、今なお多くの問題が山積していると云わざるを得ないと存じます。このような中であつて、今こそ決意を新たに、従来の慣習等にとらわれず、地方の時代の実現を期して一層の努力が必要

と痛感されるところであります。

60年度の財政計画によりますと、地方税、地方交付税に伸びが見込まれ、歳入構造が改善にむかうなど財政体質に好転のきざしが出ているのが特色であります。しかしながら、人件費の伸びによつて、歳出構造の硬直化は依然として進んでおり、自治省では引き続き徹底した歳出の見直しに努めるよう強く求めているところでもあります。

新聞、その他の報道により、既にご承知のとおり、60年度の地方財政対策は、地方側が総じて反対を唱えていた国庫補助率の1割カットが断行されるなど、厳しい現状に直面しております。このような現状をふまえながらも、「地方の時代」と言われる現在、地方自治体の行政のあり方に対する国民の行政改革の要望はいよいよ高まり、一方住民の行政需要は、一段と強まっているところでもあります。

このような時代において、市町村自治体の果すべき役割と責任は重大であり、また住民のこれに対する期待も大きいものがあります。これからの地方自治は、かつての高度成長時代の理念と、行政姿勢から更に一歩踏み出し、地方の個性を生かした行政が必要だと考えるところでもあります。そのためには、町民に行政の基本を示しながら、重点を明らかにし、行政の重点施策をかねて、わかり易い

と行政を推進すべきであらうと存じます。

わが東由利町は、本町のおかれていた地方的条件、歴史的沿革、その土地に根ざした風土、民情、町民性など、優れた地域個性を持っており、豊かな自然環境に培われて発展してまいった町であり、その立地条件は、将来に向けて尚一層、大いなる発展の可能性を秘めていると言えるのであります。

このような観点に立ちまして、わが町が目指す行政目標は、「明るく住みよい、うるおいと活力あふれる町づくり」であります。そのために、行政の重点目標として次の三つの支柱を掲げて推進してまいる所存であります。

その第1に「人と自然が調和した豊かな町土づくり」であり、第2に「快適な環境の創造と心豊かな町民の育成」そして第3には「地域の特性を生かした魅力と活力あふれる地域づくり」であります。この3本の柱を「東由利町開発基本構想」に掲げ、これを目標に具体的な行政施策を展開してまいりたいと存じます。この行政目標に沿つて、昭和60年度の行政重点は次の5項目といたしました。（5ページに、要点を掲載しました）

これがここの重点施策です!

新規及び重点事業を主に掲載しました。(予算の千円単位は省略しています)

農業振興対策の強化・充実

本町の基幹産業は農業であり、農家率が減少しながらも、農家人口は全体の、74.5%を占めています。農地の流動化等により、専業農家が少しずつ増え、兼業農家が減少していますが、本町の立地条件は依然として稲作を中心とする農業経営による経済基盤であり、今年は次のような施策で農業振興を図ります。

- 水稲生産対策事業・174万円 新水稲品種「あきたこまち」の作付けのため、土壌調査、種子購入等を行う。
- 地域農業整備促進事業・139万円 稲作振興のための農業集団育成や、農業の担い手対策を行うもの。
- 第三期山村振興対策事業・5,954万円 大吹川地区等4か所のかんがい排水等の整備を行う。



- 県単小規模土地改良事業・502万円 向田地区かんがい排水と下の代老朽溜池の整備を行う。
- 営農振興事業・300万円 低コスト型高位安定稲づくりの推進と、水田再編対策の促進及び転作作物の生産性の向上を図る。
- 露地野菜栽培推進事業補助金・14万円 露地野菜栽培の技術導入のための助成を行う。
- 特産品生産育成振興補助金・10万円 特産品の開発にかかる経費に対して助成する。
- 産業道路整備事業・450万円 農林畜産業用道路の改良補修費の一部を助成。
- 農業後継者対策・57万円 農村青年

交流会や、農業後継者大会を行う。

- 畜産指導員設置・156万円 畜産農家個々の技術指導のため、専門技術者を委嘱。
- その他畜産の振興のため、高齢者等肉用牛飼育事業、環境保全対策事業、サイロ設置事業、家畜保留事業等を従来どおり行う。
- 特用林産振興事業・85万円 桐の植栽に対して助成する。
- 町村合併30周年記念植樹・177万円 深山地内国有林に杉苗約1万本を植栽する。
- その他林業振興として、良質材化促進事業、森林強化育成事業、造林事業、ふれあいの森造成事業、森林組合強化育成を従来どおり行う。
- 出羽丘陵開発事業推進・119万円 出羽丘陵開発事業を円滑にすすめるために諸会議、研修等を行う。

生活環境と交通体系の整備・充実

町民生活の向上により、住みよい環境づくりへの要求が一層高まっています。そのために、集落間の道路整備が急務とされているなど、これらの整備と併せて、冬期交通の確保と安全対策、防火対策を図ります。

- 林道新設改良・5,415万円 荒沢川線、矢走線を新設、ボツメキ線を舗装する。
- 農道整備・6,158万円 高村地区、石高地区、大台地区、新沢地区の道路を整備する。
- 土地改良総合整備事業・1億9,428万円 宮の前、上里地区の石滝線を改良、一部を舗装する。
- 農村基盤総合整備事業・2,668万円 農村公園整備事業の設計委託、高館線の舗装、上の台地区暗渠排水工事等及び上の台線の改良を行う。
- 農村総合整備モデル事業・1億120万円 集落内農道13路線の改良、舗装を行う。
- その他町道の新設改良・3,155万円 町道横山線外5路線の改良、舗装及び調査を行う。
- 冬期交通安全対策・4,591万円 除雪対策の徹底と、蔵地区流雪溝にかかるポンプの設置、除雪機械車庫修理等を行う。
- 消防施設整備事業・1,417万円 防火水槽を4基新設する。
- その他、国道107号線宿工区に調査費計上、県道の改良工事と用地買収交渉、

老方地区測溝工事の継続、館合地区流雪溝整備事業の準備などを行う。

町民生活基盤の確立

農業の近代化がすすみ、農家の生活基盤が変ぼうしつつあります。こうした中農外収入確保のための就業基盤として男子型の工場が導入され、農家経営や町の経済は合理化の方向にあります。今後も住みよい町づくりのため、町民生活基盤の安定確立を図ります。

- 町中小企業振興資金・100万円 基金を増額し、中小企業の強化を図る。
- 町観光協会育成・54万円 観光振興のため、町観光協会へ助成する。
- テレビ中継局設置事業・2,204万円 秋田テレビ、秋田放送の中継局を建設する。
- 町民いこいの森整備・253万円 町民いこいの森の一角に休憩所を建設する。
- その他 袖山小跡地に多目的集会施設を建設するための調査費を計上。企業振興と就労の場の確保のため、誘致企業秋田信英(株)第2工場完成にかかる町民の就労の場確保につとめる。

民生福祉対策の強化・充実

健康で明るく住みよい町づくりの理想のもとに、今年は特に老人福祉対策を重点にすすめます。

- 特別養護老人ホーム設置事業・3億3,100万円 蔵小跡地を予定地に、厚生省の正式認可があり次第建設する。
- 老人家庭奉仕事業・336万円 ねたきり老人等を対象に奉仕員が世話活動を行う。
- 老人居室整備資金貸付事業・1,000万円 自力で居室を整備することのできない60歳以上の老人に資金を貸付するもの。
- その他 身体障害者家庭奉仕事業、身体障害者住宅整備資金貸付事業のほか、各種福祉対策を従来どおり行う。

教育環境の整備・充実

昭和59年をもって学校統合が終わり、新しい学校教育体制のもとで義務教育をすすめています。しかし、教育環境の未整備もあり、今年はその整備、充実のため次の事業を行います。

- 中学校給食施設整備事業・9,140万円 中学校に給食棟423㎡を新設する。
- 高瀬小プール建設事業・4,159万円 高瀬小にプール385㎡を新設する。

60年度予算などを可決

東由利町開発基本構想を策定

特養ホームについて

2議員が質問

3日目に行われた一般質問では、7議員が十数事項にわたって質問、本年度の町の重要施策である特別養護老人ホームについては、2議員が、①開設後の運営費の負担に

第1回町議会定例会が3月7日に招集されました。会期は15日までの9日間で、初日は町長の施政方針、教育長の教育方針の発表と、昭和60年度予算、昭和59年度補正予算のほか2案件、2日目は東由利町開発基本構想の策定、印鑑条例の制定など19案件、3日目は一般質問、4日目は固定資産評価審査委員会の委員選任の同意など3案件のほか各常任委員長が付託されていた事件の審査結果について報告、いずれも採択と決定し閉会しました。



ついて、②職員の採用、身分等について質問、これに対して畠山町長が、①運営費については全額が国(70%)・県(30%)の措置費でまかなわれ、町の負担はない。61年度以降も、この措置費が職員の給与や物価の上昇にあわせて毎年スライドするので、支障をきたすことはないと思うと答えました。また、②職員の採用については、国の基準により23名とされており、身分は町職員(地方公務員)の扱いとなる。採用要件等については、今後検討の上要項を定めたいとし、福祉の町づくりのための職員の運営上の工夫や、福祉行政の行政効果が上がるよう、十分な行政体制で取り組むことをつけ加えました。

出羽丘陵開発事業で和牛を52%増に

今年で3年目をむかえた、出羽丘陵開発事業については、1議員が、①出羽丘陵開発事業による経済効果について、②新たな債務負担による、安定経営のための所得確保に対する、行政と農協の指導について質問。畠山町長が、①計画時点では参加農家戸数が105戸で、22団地、238・4畧の規模の草地造成等を計画、同時点で

の和牛頭数は740頭で、年間の畜産所得を7千92万円とみている。本事業の経営安定時では、和牛頭数が52%増の1、126頭を見込み、畜産所得を年間1億791万円と試算している。

②同事業は、昭和64年に完成する見込みで、事業費の償還が始まる昭和68年までの間、償還に支障のないように、所得の拡大、経営の安定のための指導を強化する。また、参加農家に対する営農指導は、農協が具体的な指導をすすめることになっており、一般農家にについても農協との連携のもとに、今年度から始まる畜産指導員制度も活用しながら指導の強化を図っていきたいと答えました。

「あきたこまち」種子を確保 35%増に作付け

県の水稲奨励品種に指定され、本町でも重点栽培地域に指定されている新水稻品種「あきたこまち」の作付けについて、1議員から作付面積と種子の確保、技術指導について質問。畠山町長は、今年度35%増を確保、うち農協が28%、その他7%で、種子も既に確保している。今後、農業総合指導センターの機能を生かし、農協及び農業改良普及所と緊密な連携を保ちながら、育成指導を強化していく、と答えました。

以上、町の事業にかかわるものの質問と答弁の中から一部を紹介する。

審議ダイジェスト

●「東由利町開発基本構想」を策定 町の今後10年間の目標を定めたものです。(詳しい内容を、広報5月号で紹介する予定です)

●「東由利町国土利用計画」を策定 町土を今後どのように利用していくかについて計画をたてたものです。

●「東由利町印鑑条例」を制定 印鑑の登録者に「印鑑登録証」を交付し、実印の持ち歩きをしなくても済むようにしたものです。7月1日からの改正で、詳しくは後日広報等でお知らせします。

●町税条例の一部を改正 これは、日本専売公社の民営化によるものです。

●町道の認定 蔵バイパスの開通により、横渡地区道路の一部を、また、跡見坂地区の一部を町道に認定しました。

●固定資産評価審査委員会の委員を選任 7ページで紹介します。

●東由利町中小企業振興基金の増額 融資の枠を広げました。

●国民健康保険の葬祭費を改正 3万円から5万円になりました。

●町議会議員、町三役などの報酬を改正 次のとおりです。

議長	15万7千円	↓	16万6千円
副議長	13万6千円	↓	14万4千円
議員	12万5千円	↓	13万2千円
町長	52万円	↓	55万円
助役	40万円	↓	42万円
収入役	38万円	↓	40万円



主 補 正 予 算

昭和59年度一般会計予算では19,295千円が減額され、歳入歳出額がそれぞれ 2,412,339千円となった。補正の主な内訳は次のとおり。

- ▶ 農地流動化奨励補助金の増額 3,764千円。
- ▶ 農業用施設災害復旧工事費の追加 3,080千円。
- ▶ 特用林産物振興対策事業補助金 2,345千円を減額。
- ▶ 善徳線付替工事費 5,079千円を減額。
- ▶ 道路橋梁災害復旧工事費 4,813千円を減額。
- ▶ 河川災害復旧工事費 7,729千円を減額。

特別会計の補正予算は省略させていただきます。

させていただきますが、その他の質問、答弁については、町議会

が後日発行する「議会だより」をご覧ください。

議会最終日には、遠藤(治)総務財政委員長が、付託されていた各会計歳入歳出予算の審査結果について、「賃金、旅費、交際費及び需用費等の思い切った減額が見受けられ、新規事業においても、厳しい財政の中で均衡のとれた予算措置を図ったことは、当然のことといえ評価する」と報告、各会計予算を原案通り可決しました。

このあと同委員長は、各常任委員会から出された町への指摘、要望事項について次のとおり報告しました。(概要のみ)

総務財政委員会

▼役場庁舎の改善について
将来建築が必至と見られるので基金条例等を定め、具体的に進める時期であると思われる。

▼観光・商工振興について



遠藤(治)総務財政委員長

総務財政 委員長報告

特養ホームは慎重な運営を

厳しい財政の中、均衡のとれた予算措置を評価

前向きな姿勢が見られるが、内容と方策については、商工会との

▼へい獣処理について
死亡家畜を施設で焼却処理しているところもあり、本町でも検討すべきでないか。

教育民生委員会

▼町民グラウンドについて
スコアボードの早期設置を。

▼台山グラウンドについて

運営については、先進地の事例を充分参考にするとともに、議会及び町民の理解を得るなど、慎重な取り組みを。

産業建設委員会

▼農林業・畜産振興予算について
計上した予算を、完全に執行できるように国・県の予算獲得に鋭意努力すべき。また、桐と林木を活かした特産品の開発と、出羽丘陵開発事業の進展に伴う畜産振興に、積極的な取り組みを。

▼出稼者激励懇談会について
従来と指向を変えた方向で実施するよう検討を。

橋梁防風ネットについて

施設にあたっては、取付場所の優先順位等を慎重に。

道路行政について

道路整備の遅れを挽回するよう最善の努力を。

連携を取り、進めるべき。

▼スキー場の運営について
運営のあり方を再検討し、スキ―に限らない利用も検討を。

▼学校給食について
会計内容や仕組、また管理体制を明確に。

▼湯出野遺跡について
運営、活用について、今後建設が期待される民俗資料館と併せて検討を。

▼特養ホームの建設について

固定資産評価委員会 遠藤二三雄氏を選任

任期満了に伴う町固定資産審査評価委員会に、新しく遠藤二三雄氏(宿字宿75・67歳)が選ばれました。氏はこれまで、村議会議員や農業委員を歴任されています。



遠藤氏

- 町役場の諸手数料を改正 身元に関する証明(住民票等)を150円から200円に、土地図面(複写)交付が、350円から400円に、また印鑑条例が制定されたことで、7月から印鑑登録証(新設)の再交付に500円の手数料が設けられました。
- 町集会所の使用料を改正 (項目が多いため内容を省略します。)
- ごみの手数料を改正 一般家庭では、1,200円から1,500円になりました。
- 火葬場使用料を改正 15歳以上のものでは、3,000円から4,500円になりました。
- 町有ブルドーザー使用料を改正 基本料では(11トン・1時間当たり)6,500円から7,000円になりました。

教育長36万円――38万円
他は省略します。

八塩小学校

(敬称略)

転出	転入
村上 重見 畑山 栄子	猪股弥太郎 山崎 修 鶴舞小 新採用

高瀬小学校

畑山 昭一 佐々木 彰 小杉 四郎	東由利中 鶴舞小 由利中	笹木 信也 佐々木 公 大島 悦郎	小友小 亀田小 平沢小
-------------------------	--------------------	-------------------------	-------------------

大琴小学校

斎藤 治男	松ヶ崎小	高橋 房雄 佐藤 弘之	新山小 新採用
-------	------	----------------	------------

東由利中学校

畠山 悟 小園 貞雄 大坂 葆	退職 由利中 金浦中	畑山 昭一 和田 一恵 小松 昭二	高瀬小 川内中 金浦中
-----------------------	------------------	-------------------------	-------------------

本荘高校下郷分校

石川善一郎 佐藤 博英 土屋 直弘 見上 満	矢島高	藤田 幸雄 東海林武敬	秋田北高 増田高
---------------------------------	-----	----------------	-------------

駐在所警察官

鶴田 光義	大 館	鈴木 英昭	森 吉
-------	-----	-------	-----

教職員・警察官の異動

※町職員の異動は広報号
外でお知らせします。

「無火災」で知事表彰

「昭和59年無火災町」として本町に、県知事から表彰状(写真)が、県消防協会長から感謝状が贈られました。本町の無火災は、3月31日で549日を記録するもので、今後もこの記録の更新のため、町民みんなの注意、協力をお願いします。



石渡副団長



渡辺分団長



小松副団長

また、副団長の小松正幸氏には日本消防協会長表彰として精進章が伝達されました。おめでたうございまして。

石渡副団長、渡辺部長に
消防長官永年勤続功労章

小松副分団長に消防協会精進章
昭和59年度県消防功労者表彰式が、3月14日に県正庁で行われ、本町消防団副団長の石渡力造氏(蔵新田・32年勤続)及び第1分団団長の渡辺清一氏(時雨山・30年勤続)に、消防庁長官永年勤続功労章が伝達されました。

愛の献血ありがとう

2月27日、県の移動献血車「あかつき号」が来町、町内5か所ですぎの67人の方々に尊い血液をいただくことができました。ありがとうございます。

なお、今回献血された方のうち、20回以上献血されている方が3人おりました(太字)。このうち、これまで紹介した人を除き次の方を紹介しました。

石渡博澄さん
蔵新田・20回

日赤の「銀色有効章」

佐々木さんと
鈴木さんが受章

59年度「銀色有効章」に、佐々木日出夫さん(大琴)と、鈴木博さん(大琴)が選ばれた。このほど日本赤十字社から、たてと標札が贈られました。これは30回以上献血をされた人に贈られるものです。

佐々木さん
(30回)鈴木さん
(30回)

大琴診療所前(8人) (敬称略)

長谷山貞子 長谷山節男 遠藤トキヨ
阿部千恵子 小野 純一 長谷山 久
長谷山一恵 畠山 基保

役場前(24人)

佐々木桑子 高橋 虔一 佐々木文子
高橋美栄子 小野トモ子 小野 明春
高橋 重保 小野 武男 遠藤 晃
石渡 博澄 小松 信記 遠藤 利彦
石渡 洋子 高橋美和子 工藤 良
遠藤 寅松 佐々木甚一郎 小松 宣夫
小松 健 小野 貞男 小笠原千江子
柳野寿保子 長谷山 進 小野 進

大蔵館前(9人)

佐藤 孝悦 佐藤 新一 阿部 弘章
志村 仁 渡辺 仁 小笠原豊和
伊東 隆 佐藤 好男 横山 玉一

玉米支所前(5人)

小松やえ子 小松 愛子 莊野 一美
畠山 明 高橋 政一

下郷分校前(21人)

佐々木悦子 佐藤真由美 遠藤 昌弘
小野 光之 土屋 直弘 小松 広光
加藤 俊明 大日向文子 小野 賦美子
石橋 文子 工藤 茂也 鈴木 郁子
遠藤久美子 佐藤美由希 佐藤 淳
小野 彰 畠山 紀悦 小松久美子
木島 文枝 阿部 力 大日向和男



「迎げば尊し、わが師の恩…」思い出多い学び舎とも今日でお別れ —



巣立ち

—東由利中学校卒業式—



「先生、いろいろありがとうございました」

心の中のアルバム

卒業記念文集「高瀬川」から

卒業生・大庭智恵(舟木)



3月は巣立ちの季節……
 ここ東由利中学校では、3月16日
 卒業式が行われ、9年間の義務教育
 を終え、心身ともに大きく成長した
 75人の生徒たちが、明日の未来にむ
 かって飛びたっていきました。

勉強や部活よりも、大切なもの
 が人それぞれ、卒業をむかえて感
 じていると思います。もちろん、
 私もあります。中学の3年間は、
 私たちにとっては、もちろん貴重

でした。子供から大人に変わりつ
 つ、難しい経験を、人それぞれ、
 私もふまえて経験してきました。
 だけど私には、これからの生活、
 生き方に、すぐくプラスになる感
 じで、うれしいです。
 3年A組、3年B組、同じクラ
 スになれなかった人もいるけど、
 ある時は、一緒に悩んだり、喜ん
 だりした大事な仲間です。卒業し
 ても、部活、修学旅行、運動会、
 宿泊研修、みんな思い思いの形で
 心の中にすてきなアルバムができ

ているはずなので、なんかあつて
 もくじけないでほしいと思うし、
 私も頑張りたいと思います。そん
 な時があったらこの文集を見ても
 いいと思います。今度は、みんな
 自分の道を歩んでいくけど、いつ
 も新鮮な気持ちをもちつづけてい
 きたいと思います。男の人も、女
 の人も、夕日を見て「きれいだ」
 というような気持ちは、いつにな
 っても大切にしたいと思っています。
 自分に自信をもって、元気に、
 がんばっていきましょう！ね。

「頑張れよ」「先生も元気で」別れの悲しみの中
 にも、社会へ一歩歩み出ることの喜びは大きい…



ま ち の 話 題

創意・工夫で古着再生

宿分館でリフォーム教室

宿分館では、3月9日と10日の両日「リフォーム教室」を開催しました。この教室は数年前



古着再生を楽しむ婦人たち（高瀬館）

から行い婦人たちの人気を呼んでいるもので、本荘アザミ服装学院の先生が講師。参加者たちは、流行おくれの洋服などを持ちより、創意と工夫をこらしながら手作りを楽しんでいました。

「意欲がわいた」全国青研

全国青年
問題研究集会

孝悦くんが県代表で参加



小野くん

「国際青年の年」を記念して、3月8日に東京代々木の日本青年館で開かれた「第30回全国青年問題研究集会」に、本町の小野孝悦くん（郡連合青年会副会長・新町）が秋田県の代表（一行25人）として参加、全国各地の青年たちとの交流を深めました。

た。この集会は、青年の地位向上を目的に、日本青年団協議会が毎年行っているもので、小野くんは、県段階でのレポート審査などで認められ、県代表として参加したものです。全国の青年たちとの交流という貴重な体験をした小野くんは、「全国レベルの青年会活動が活発であることに圧倒された。しかし、自分たちも頑張らねば」という意欲を持つことができた」と感想を話し、今後の青年会活動への意気込みを大きくしていました。

（館）新田チームが優勝

玉米分館の「ピンポン大会」



かつての名選手たちも熱戦…

3月24日、玉米分館では八塩小学校体育館を会場に「第1回自治会対

ての名選手たちの手つきもやや不安ぎみ…。試合の結果、優勝は（館）新田チームが飾りました。

抗ピンポン大会」を行いました。これは同分館が体力づくりをねらいに、今回初めて行ったもので、この日は5チーム、40人余りが参加。いまではあまりするところのなくなったピンポン（卓球）だけに、参加したかつての名選手たちも熱戦…

健康求め280人参加

成人病予防学級



280人が参加した成人病予防学級

町の保健事業で、59年度最後の成人病予防学級が、3月13日に有隣館で行われ、これまでにない280人もの人が参加しました。講師は由利組合総合病院小松寛治先生で、胃ガンを中心に、ガンの恐ろしさ、予防の方法などの話しに、出席した人たちは真剣に耳を傾けていました。

豆会
大励
県共

嶽石さんに
努力賞

59年度県豆類経営改善共励会で、八日町の嶽石忠司さんが努力賞を受賞しました。嶽石さんは、シロセンナリを作付けし、10ア当たり303・4キ（県平均204キ）を収穫、良質大豆の生産に努めたことが認められたものです。



嶽石さん

良者
優
運
転

14人に
表彰状

優良自動車運転者として、このほど次の方々に、秋田県警察本部長・秋田県交通安全協会会長から表彰状と優良運転者章が贈られました。（敬称略）
木島俊悦（宮の前）・遠藤信一（小倉）・猪股徹（畑村）
・小松繁克（八日町）・中津川辰夫（中通）・高橋武義（横渡）
・佐藤根二（寺田）・長谷山博昭（上通）・工藤秀雄（高村）
・遠藤利美（小倉）
・大日向操子（宮の前）・小松操一（宮の前）
・遠藤松悦（小倉）
・小松蔵三（高戸屋）



シンナーを吸っている

シンナーを吸う子供には、大きく分けて2つのタイプが考えられます。

1つは、仲間同士の秘密として、あるいは仲間に認められたいことからシンナーを吸う「非行共存型」。もう1つは、不安・不快といった嫌な気持ちになったとき吸うと、その気持ちが忘れられるから、という現実からの“逃避”としてシンナーを常習していく「依存型」。

■仲間意識を強めるためにシンナーを吸う

シンナーを吸うきっかけとなるのは、仲間です。先輩、後輩といった友達関係の中で、初めてシンナーを吸い、そのままやめられなくなる——というのが圧倒的に多いケースです。自分で興味をもって、1人で吸い始めるというのは皆無といってもいいでしょう。

「おまえも、やってみろ」。友達の部屋に行ったら、4人の上級生がシンナーを吸っていて、命令口調でこう言われた。やらないと仲間はずれにされる、あるいは吸うことによって仲間意識をより強める——これがシンナーへの第一歩となるのです。

最初は仲間と一緒に吸っていたのが、心も体もシンナーに依存するようになってくると、やがて1人ででも吸うようになってきます。そして、覚めているときは“もう2度と吸うまい”と思っても、つい手を出してしまう。その揚げ句、仲間がみんなシンナーを“卒業”してしまってからでも、1人で吸ってるようでは問題です。と言いますのも“シンナー年齢”は14、15歳がピークで、その後は、ほとんどやめるケースが多いからです。「いつまでも吸ってるなんてカッコわるい」「コドモっぽい」というのが、子供たちの“卒業の弁”なのです。

■“酔っている”状態のときしかっても効果はあまりない

子供の目がトロンとして、目がよく回らない。その上、ふだんの性格からは考えられないような暴言を吐く……これがシンナーに“酔っている”状態です。

このような場面に出合ったら、すぐシンナーを取りあげてください。怖くて自分にはできないと思ったら、だれかに応援を頼んでもいいでしょう。たばこなどと違ってシンナーの場合は、速やかに対処する必要があります。薬物による意識障害は、あとあと重大な結果を招くことになるからです。

しかし、注意を与えたりするのは、シンナーが覚める3、4時間後がいいでしょう。“酔っている”状態のときに、しかったり涙ながらに本人に訴えても、うまくいかないことが多いからです。

■習慣化している場合は必ず専門家に相談を

「依存型」の子供に、やたら説教をして責め立てるのは危険です。シンナーを吸うと体に悪いことは、本人がよく知っています。親に言われると“もう2度としません”と誓っておきながら、またやってしまう。そんな自分がみじめで、また吸う。こういう心理状態にある子供を責めるのは、本人にますますみじめな思いを強いることになり、結果的には、逆にシンナーに向かわせてしまうことになっていきます。

シンナーが習慣化している場合は、必ず専門家に相談しながら、時間をかけて子供の自覚を促すようにしてください。

〔指導〕 警視庁世田谷少年センター・カウンセラー 岩佐壽夫

まちの話題



技術など学ぶ

関係者が先進地研修

町内の缶詰加工を行っている方たちが、加工の技術や、組織の運営方法を学ぼうと、このほど田沢湖町のなめこ農業協同組合を視察しました。現在、町内には4か所に町有の缶詰加工機が設置されていますが、その有効利用にいまひとつ欠けており、町などの関係指導機関では、今回の研修により効率的な利用が行われることを期待しています。



田沢湖町のなめこ農業協同組合を視察

やめよう無謀運転

「春の全国交通安全運動」が4月6日から15日まで行われます。今年の重点目標は、次の3つです。

1. 新入学（園）児を中心とした子供の交通事故防止
2. シートベルト、ヘルメット着用の徹底
3. 二輪車を中心とした無謀運転の追放

二輪車や自動車を運転する人は、以上のことに十分注意して、交通事故を絶対おこさないようにしましょう。

春の全国交通安全運動



全日本学生児童発明展

雄一くんと 玲子さん入選

第43回全日本学生児童発明工夫展の入賞作品がこのほど発表され、本町児童が出品した11点のうち2点が入選を果しました。入選した作品は、八塩小3年小松雄一くんの「空カンハーモニカ」と、同小6年大塚玲子さんの「病人用ふとん枕カバー」です。

2人の作品は、出品総点数10万点を超える応募作品の中から厳正な審査を経て入賞が決まったものです。

おめでとうございました。



みんなのひろば

包容力のある人柄が周囲から尊敬されているこの人 庄野洋一さん。
昭和36年から佐藤林業（館西）

責任感の強い人です

庄野洋一さん
下小路・42歳

われら中年
①
がんばります！



に勤め、育林にたずさわるかたわら、40歳の田畑を耕作し頑張っています。庄野さんが仕事以外にもっている大きな役目の一つに、消防活動があります。これまで実に22年間、町の防災のために第一線者として活躍してきました。現在第2分団長を勤める庄野さんは、

「長年消防にたずさわった中で、手、足、頭が焼け飛んでしまい、胴体だけになったわが子にしがみついて泣き叫ぶ母親の姿、性別がわからないほどに焼失してしまつた老人の死亡火災……一寸の不注意がこうした悲劇を生む恐ろしさを肌で感じさせられました。本町は昨年1年間無火災を記録、この達成を心から喜ぶものの1人です。消防機能がいくら充実しても、住民一人ひとりの認識がなければ火災はなくなりません。この無火災を機に、火災予防の意識の向上を願うものです」と、自らに与えられた防災という役目に、一徹な気持ちを感じられ、責任感の強さがうかがわれました。



渡辺サキさん
向田



派手になる結婚 披露宴に思うこと

先日、押入れの中を整理して驚いたことは、結婚式の引出物の数の多さです。ずいぶん御祝儀に出たものと思ひながらも、使わないで眠っている品々に、もったいない……のひと言でした。最近結婚式も派手になり、どこの家でも高級な引き出ものを準備します。しかし、必要であれば何でもそろそろ物の豊富な時代、こうしたことの見直しの時期にきているのではないかと、つくづく感じさせられました。ますます派手になる結婚式、町や公民館では是非、こうしたことを見直す運動を展開していったらいいと思うこのごろです。

私の赤ちゃん ⑨

生まれてまだ5か月ちょっとで、ようやく寝返りができるようになりました。寒い日の続いたこの冬も、かぜもひかず元気に育っています。おとうさんもおかあさんも働きに出ているので、ふだんはおばあちゃんといっしょ。毎日の散歩が大好きです。名前のように、いつも明るく、やさしい人間になってね。



小松陽子ちゃん (館新田)

59・10・16生まれ

賢さんと富貴子さんの長女



小林史幸くん



佐藤祐宏くん
高瀬小・6年



小松和幸くん
八塩小・6年

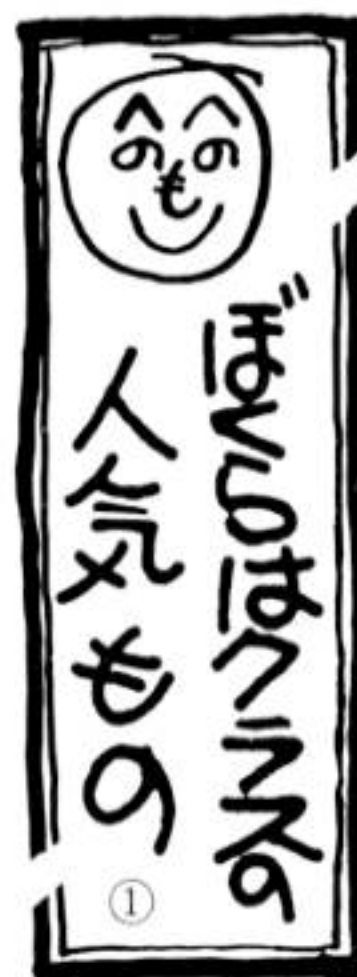


菅原健太郎くん

和幸くんは、何にも挑戦して、その結果が素晴らしいです。陸上競技、球技は左手一つで、ぼくらよりもじょうずです。下級生や、女の子にも人気があります。

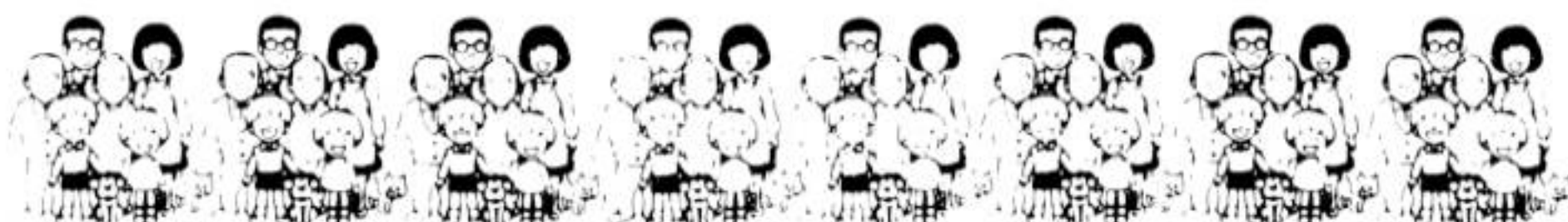
祐宏くんは、ラジコンの大好きなお友だちです。2人でプロレスごっこをして遊びます。スキーが上手で、クラス一番のうまさです。

今月は町内小学校6年生のクラスの人気ものを、仲の良いお友だちから紹介していただきます。



町の生活目標

1. 町の心は明るいあいさつ
2. きれいな町で健康な暮らし
3. ミエ・ムダはぶいて生活の工夫
4. 学び・働き・助けあう・ゆたかな心



秋田信英(株)の工場内

秋田信英(株)は町の誘致企業で、昨年の8月から操業をはじめ、3月22日現在従業員数は92人、最終雇用人数は350〜400人である。作業内容は、5ミリ径のアルミ電解コンデンサーをオートメーションで製造し、男性はそのオペレーターとして従事、女性は主にコンピューターでの生産管理をしている。

この会社の特徴としては、信英グループという組織があり、その中でも、最新鋭の機械を使用していることから、この会社で作られた製品は品質が良いという点と、最も生産性が高いという点があげられる。また、3カ年計画により、総売り上げを500億円まで伸ばす努力をしているということを聞いて、その規模の大きさにただただ驚くばかりだった。

もう一つ工場を設ける計画があるそうだが、そうになると、町内の人々が県外に流出するのを少しでも減らすだけでなく、これから先、このような電子関係の企業が町の産業の主体になるよう、より一層の規模拡大を図って欲しいものだ。



秋田信英(株)

下郷分校3年

・渡辺 茂
・遠藤慶次
・石橋文子



右から白鳥専務さん、遠藤くん、渡辺くん、石橋さん

高 校 生 の 企 業 訪 問

No. 1



東田利の文芸

ゆりかご句会

初句会

狐火や由來を残す一里塚 澄子	狐火や闇の裾野の風温るく 孤舟	薬苞に育くむものや春を待つ 秀月	風紋の黒き田形に春待てる 女沙	春待つや婚約指輪はめても見 鉄牛	老来に若き日の如春待てり 北阪子	古びたる俵ぐつ踏んで春を待つ トミ
狐火や男泉女泉の湧くあたり 女沙	狐火や昔は死馬の墓所 孤舟	狐火の消ゆる大鍋自在鉤 一柿	佳話まとまり妹娘春を待ち 亮子	琴の絃締めて春待つ乙女かな 芳翠	狐火の灯る自然を捨てがたし 清浦	貞子



畑山千春さん
大琴小・6年



梅津珠紀さん

千春さんは、とても明るい人で、いっしょに遊んでいてとても楽しいです。スポーツならなんでもできて、とくにスキーが得意で、全町のスキー大会では優勝しました。

公民館 とーよ 案内

古代日本を発掘する第6巻▼野鳥の歳時記第7巻▼歴史の群像9巻▼悪魔のスクープ▼土門拳全集第12巻▼新秋田風土記(秋田の歴史と風土)(秋田の自然と生活)(秋田民謡の旅)全三冊

お願い

図書紛失が増えています。町民みんなの本であるという良識のもとに、次のきまりを守ってください。

1. 本を借りるときは、裏に添付のカードに、住所か学校名、氏名を正しく書いて、カードを窓口へ出してください。
2. 貸し出し期間は2週間です。
3. 「持ち出し禁止」のレッテルの貼られた本は、館内で閲覧してください。



みんなのひろば



ヤングレポート

高橋優子さん

新町・21歳

39・1・11生まれ

「失敗は成功のもと。私はこのことばが好きです。成功は失敗の積み重ねから生まれるものだと思っています」と、チャーミングな口もとから話してくれたのは高橋優子さん。新町の高橋勇孝さんの長女で、現在、由利アパレル（中通）に勤める、数少ない独身女性のひとり。「ユッコ」の愛称でかわいがられています。

今いちばんしたいことは……どこか遠くへ旅行してのんびりと過ごしてみたい。

理想の男性像は……歌手の山本譲二のような、清潔で、堅実な人…こんな人がいればすぐお嫁にいきます。

まだ恋人がいないと聞いて以外な感じをうけました。独身男性のみなさん、アタックしてみる人はいませんか？



⑩



畠山友治さん

(横小路出身・63歳)

買い求めました。

デパートで拾った
ふるさとのかおり

東京は桜の芽もほころび、もうすっかり春のけいを感じております。ふるさとのみなさまはいかがお過ごしですか？

過日、小田急デパート恒例の秋田観光物産展に足を運び、故郷の香り高い品々が並ぶなか、東京では幻の酒「天寿」などを

ここで、片隅にあった食堂のれんをくぐり席につくと、すぐそばに秋田なまりの強い老夫婦が、孫らしい子をつれて、シヨツツルをすすりながら焼餅などを食べていました。そして、つれの子に、「むかしは電気のつかない日があつて、今日も電気がつがねがもしれねがらランプを掃除しておげ、と言われて、すきま風で欄間の破けた障子がパタパタ、ブーブーとうねりをあげる音を聞きながら

冷たい手で、ランプに口でハー息を吹きつけながらみがいだもんだ…そしてキューキューと音が出ると、きれいな証憑で、そのランプの下で食事時に、顔さスス付いでるよ、と言われでみんなに笑われたもんだ…」と言ったとき、子どもが「おいしかった」と大声を出したので。キリタンポを食べながら、むかしをしのばせ、しみじみと聞いていた私は、一辺にして東京の現実にもどつてしまいました。

この老夫婦は「秋田はとても良いところだよ」と付け加えていましたが、このように平和で明るい日が永久に続いてほしいと願うものです。

(畠山さんのお住い▼埼玉県新市堀2の2の14)

元気ですか
保健婦です

⑨

健康の尊さ思い出して…



検診その他の勉強会にも積極的に参加してください。

やはり、人は年をとっても何事にも関心を持ち、人の集まりには出て話しを聞き、自分の頭で考え行動してみる…その繰り返しで心も体もサビないコツではないでしょうか。

健康とは空気のようなのが当たり前、失われて始めてあわてるものなのです。

春来たりと言えども季節の変わりめ、風はまだ肌に冷たく感じます。雪消えとともに忙しさが増す毎日…とよく耳にしますが、「健康」であることの尊さを時に思い出しながら仕事に励みたいものです。

(保健婦・伊東志津子)

母と子の読書教室

保育園児とその母親を対象に
次により行われます。

多数ご参加ください。

期間 60年4月から61年3月

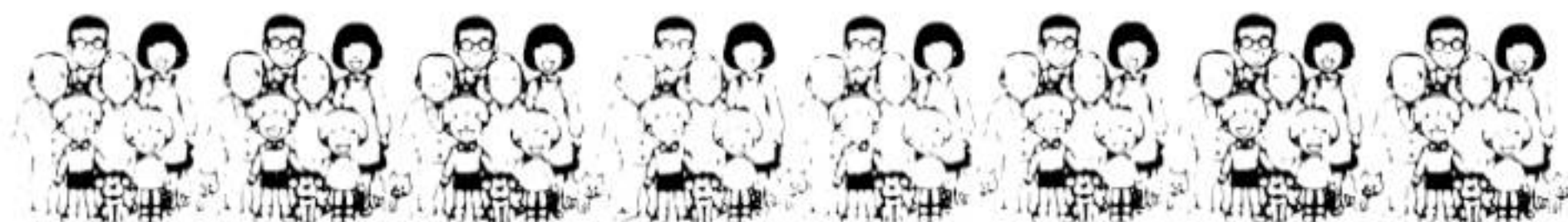
場所 有隣館・朋楽荘
内容 ●読み聞かせの会
●講演(絵本の選び方、読み方、見方等)

●テーマ・読書

情報くらなま

まで、毎月1回(日曜)

さわやか君



小松さんご夫妻と孫の晃くん(中央)

小松 運次郎さん

明治41年3月18日生・77歳

ナカヨさん

大正4年4月13日生・69歳

新町・結婚歴52年

金婚さん
いらっしやい

昭和8年に、運次郎さんが26歳、ナカヨさんが19歳で結婚、その後運次郎さんが36歳のときに戦争に召集され、妻のナカヨさんは3人の子どもをかかえての生活で、最もつらいときだったといえます。現在、運次郎さんは「ヤクルト」の配達を仕事に、農繁期には田畑に出かけ、人並み以上に働いています。また、ナカヨさんは、内職をしながら家事を取り仕切っています。2人とも「からだを動かすことが何よりも健康法」と、元気づけを見せられました。

今月の催し

- 4日・町内小学校入学式
- 5日・東由利中入学式
- 10日・1歳6か月児検診
- 12日・町指導センター畜産部会
- 12日・ポリオ生ワクチン
- 17日・三混予防接種
- 19日・3歳児検診
- 20日・地域保健対策協議会(有鄰館)
- 22日・町愛育会総会(有鄰館)
- 24日・乳児検診
- 25日・農業委員会
- 30日・出稼者グループリーダー打合せ会(有鄰館)

* ————— *

自治会長会議を下旬に予定しています。

ご意見
ご要望
お寄せ
ください

今月から、お母さんの生活日記/われら中年がんばってます/ぼくらはクラスの人気もの/東由利の文芸/高校生の企業訪問/金婚さんいらっしやい/東由利の今昔物語/ふるさとの植物などのコーナーを設けました。なお、ふるさとの味/われらちびっこ派/民話は中断させていただきます。ご意見ご要望を係までお寄せください。

*ありがとう

黒沢の小松隆さんから、亡き慎一さんの香典返しとして、また、

舟打場の鈴木五郎さんから、亡きノブ子さんの香典返しとして、それぞれ金一封が町社会福祉協議会に届けられました。ありがとうございました。

- 紙芝居、映画、音楽の鑑賞
- 手作り絵本製作
- クリスマスの集い

申し込みは電話か、入園式の時に配付する用紙で4月15日まで届けてください。

連絡先 ☎ 69-2311

労働保険料の申告

お早目に!

労働保険料の申告期限は、5月15日までとなっています。申告・納付手続等についての照会は、秋田県雇用保険課 ☎ 0188-69-1754へ



昔

下通のむかしといま 不景気のどん底だった…



今

写真(右)は昭和2年ごろのものらしく、下通の長谷山誠一郎さん宅前から中通方面にむかって撮ったもののようです。当時は不景気のどん底であり、いまはなき横荘鉄道の建設工事がさかんに行われていたころとも聞きます。写真中央の自転車は、このころではめずらしいもので、生活の豊かな家でないと持つことはできませんでした。

48年たった今日(写真左)、地形等に変化はありませんが、住民の生活は大きく変わっています。

東由利の今昔物語



ふらとの植物

ギシギシ(タデ科)

早春の店頭に黄緑色の若芽が並べられ、雪国の人々に春の息吹を感じさせる。春の七草の一つ「ゴギョウ」ともいわれ「ヒコヒコ」ともいわれる。和名は茎と茎をこすり合わせた音からつけられたという。私たちが幼いころ、長くのびたこの草を持ってホタル狩りなど

したもののである。若芽は、おひたし、すのものにして食べる。また、根のしぼり汁は、はれもののすい出しに用いる。(町公民館長・小松)



戸籍の窓口

(2/21) 3/20届出・敬称略

うぶ声



小野 雅人(多)和敏・長男 五海保
小松 舞(多)昌英・長女 中通
畠山 満洋(多)満春・長男 上通
小松 嘉紀(多)和男・二男 向田
鈴木 香(多)和夫・三女 沼
柴田 三紀子(多)和尋・三女 須郷田
佐藤 真吾(多)栄志・二男 新沢
高橋 拓也(多)守・二男 地下ノ沢
佐藤 浩司(多)良一・二男 泡ノ沢

結婚

(高橋) 満 (館新田)
大塚 裕子 泡ノ沢



おくやみ



菊地 傳吉(76)ハルヨ・夫 館西
鈴木ノブ子(49)五郎・妻 袖山
小松 キヨ(60)涉・母 山崎

町の三統計 3月(2/1~2/28)

- | | |
|---------------------|----------------|
| ●人口 () 内は前月と比較 | () 内は1月からの累計 |
| ・男 3,067人 (△4) | ●出生 6人 (13) |
| ・女 3,139人 (△1) | ●死亡 5人 (8) |
| ・計 6,206人 (△5) | ●結婚 1組 (3) |
| ●世帯数 1,425世帯 (△1) | ●離婚 0組 (0) |
| ●ゴミ処理量----- | 26t (90) |
| ●無火災継続日数----- | 518日 |
| ●救急車出動回数----- | 6件 (15) |
| ●交通事故----- | 0件 (0) |
| ●交通死亡事故「0」継続日数----- | 1,719日 |
| ●総合開発センター「有隣館」利用者数 | 1,302人 (2,161) |
| ●老人いこいの家「朋楽荘」利用者数 | 352人 (504) |

町民の声を町政に!

町長の面会日今月は20日